

飛驒高山移住定住サポートセンター オープンしました！



魅力を伝え、寄り添い、支援することで
飛驒高山に人を呼び込む

いいとこ、高山 つらって来てな。

今、「移住」がアツい。

近年は、地方移住に関心を持つ人が増えてきました。特に昨年からは、新型コロナウイルス感染症の影響で、働き方や暮らし方を見直す人も多くなり、地方移住の動きを後押ししています。

このまま少子高齢化や人口減少が進めば、地域コミュニティが維持できなくなったり、地域経済が滞ったりと様々な問題が出てきます。

そこで市は、さらに移住を促し、活力のあるまちづくりを進めるため、4月に移住戦略を策定しました。

6月21日からは飛驒高山移住定住サポートセンターも立ち上げ、移住に関する情報や支援をワンストップで提供し、一人ひとりに寄り添いながら丁寧なサポートを行っています。



▲ブランド戦略課(本庁2階)内にあります。

取組強化のポイント

移住検討者や移住者に寄り添った支援をするため、左記の2点を強化します。

① 相談体制

▽相談窓口の一元化

② 情報発信

- ▽オンライン相談にも対応
- ▽移住相談(窓口、オンライン)のネット予約対応
- ▽関係機関との連携を強化
- ▽市HPの移住情報を充実(移住後のサポートも)

移住者に聞く！

くまのひでのぶ みお
右から熊野英信さん、美緒さんご夫妻▶

令和2年8月に高山市国府町に移住。
2人とも美術大出身で、英信さん(画家)の創作活動を美緒さんが支えながら、楽しく暮らしてみえます。

Q1. 移住しようと思ったきっかけは？

以前は、2人の出身地でもある関西と関東の往復生活でした。仕事も踏まえて、中間地点のどこかに移住しようと思いはじめたのがきっかけです。

Q2. どうして高山に？

高山に遊びに来た時に知り合った方たちとの縁や、創作活動をする上での立地や環境が決め手になりました。



Q3. 移住を考えるときに役立ったことは？

一番は地元の方の生の声です。遊びに來がてら、気負わずに地域の暮らしぶりを聞いたことが大きいです。

Q4. センターに期待することは？

地元の方の声を聞ける機会や、移住後の支援なども教えてもらえると、嬉しいサポートになると思います！